様式第2号　（第4条関係）

（在学採用用）

福　井　県　奨　学　生　願　書

※貸付申込区分	修学奨学金　・　通学奨学金

福井県教育委員会　様

下記の記載事項に相違ありません。福井県奨学金を申し込みます。なお、万一記入すべき事項を故意に記入せず、または虚偽の記入をしたことが判明したときは、貸付契約を破棄されても異議は唱えません。

学校名　　高等学校　高等専門学校　　科（　　年　　組）

（　　年4月第1学年入学）

フリガナ 本人氏名	※男・女	㊞	住　所 TEL　　－　　－
生年月日　　年　　月　　日生			※　自宅外月額を　希望する　・　希望しない
連帯保証人（保護者等） （続柄　：　本人の　　）		㊞	住　所 TEL　　－　　－

出願者は太線内を記入してください。

同一生計の家族															
ア 就学者を除く家族	続柄	氏　名	年齢	所得の種類	収入・売上金額（税込）　万円						所得金額（税込）　万円				
										①				
										②				
										③				
										④				
										⑤				
	↑	主に家計を支えている者、ひとりに○ 同一人で2種類以上の所得がある場合には、二段等に記入								⑥				

※の箇所は該当するものを○で囲んでください。

イ 就学者（本人除く）	続柄	氏　名	※設置者	※ 就学者控除	※通学別		控除額			万円
		（　才）	国公・私立	小・中・高・高専・専高・専専・大学	自宅・自宅外	⑦				
		（　才）	国公・私立	小・中・高・高専・専高・専専・大学	自宅・自宅外	⑧				
		（　才）	国公・私立	小・中・高・高専・専高・専専・大学	自宅・自宅外	⑨				
		（　才）	国公・私立	小・中・高・高専・専高・専専・大学	自宅・自宅外	⑩				

所得から差し引かれる金額					
ア　本人の就学者控除	⑪				
イ　母子・父子世帯	⑫				
ウ　障害のある人がいる世帯	⑬				
エ　主たる家計支持者が別居している世帯	⑭				
オ　長期に療養を必要とする人のいる世帯	⑮				
カ　火災・風水害または盗難などの被害を受けた世帯	⑯				
［⑦～⑯の計］　控除額合計	⑰				
学校認定欄	［⑥－⑰］　認定所得金額	⑱			
世帯人員　　人	収入基準額	⑲			

通学等の状況(通学奨学金の貸付けを申し込む場合)	
1	定期券の額　　月額
2	利用交通機関 名
3	乗車駅(停留所) 名
4	下車駅(停留所) 名

(注)1　学校種類別の欄については、次表より該当する記号を○で囲んでください。

在学する学校種別	記号
小学校または特別支援学校の小学部	小
中学校、中等教育学校の前期課程または特別支援学校の中学部	中
高等学校、中等教育学校の後期課程または特別支援学校の高等部	高
高等専門学校	高専
大学(短期大学および大学院を含む。)	大学
専修学校の高等課程	専高
専修学校の専門課程	専専

(注)2　通学別の欄については、学校種類別の欄の「小」または「中」以外のものを○で囲んだ者について該当するものを○で囲んでください。

以前、福井県奨学生であった場合は、その学校名・奨学生番号を記入	学校名　　学校	奨学生番号

家庭事情	奨学金の貸与を希望するにいたった家庭事情や、その他特に説明を要することを記入

学習成績(5段階)の評定平均値	.	(注)学習成績の評定について文書による記述が可能な場合には、それに従って記述してください。

所見	特記すべきことを記入	所見記入者氏名	

この生徒は、福井県奨学生として推薦基準に合致していると認め、推薦します。

年　　月　　日

福井県教育委員会　様

学 校 名

学校長氏名

職印

学校担当者氏名

この申込書に記入されている個人情報については、福井県の奨学金業務のためにのみ利用するものであって、その他の目的に使用することは一切ありません。

なお、不採用または採用取消になった場合、願書は返却しません。